



第75号
発行所
タムラカントウ
安全衛生協力会
千葉市美浜区新港223-2
〒043-246-2751
発行責任者
菅 良 行
発行平成27年8月1日

軋む歯車

専務取締役工事本部長
田村 真光



初めに去る

7月9日の全国ダクト工業団体連合会40周年記念祝賀会並びに関東ダクト工業会50周年記念祝賀会が盛大に開催されましたこと、誠にありがとうございます。改めて、誠にありがとうございます。改めまして、これまでの諸先輩皆様方の「情熱」と「力行」を感じさせて頂いた会でした。お疲れ様でした。

さて、題目に「軋む歯車」とした理由をこの紙面をお借りして申し上げます。また、要望と合わせご理解頂きたく宜しくお願い致します。我々ダクト業界と元請設備業界は繁忙と言われ続け既に3年近くなり、2019年をピークに向け、日々施工準備に明け暮れております。社会全般がアベノミクスの経済効果により徐々に向上に回復しつつある中、依然として我々業界は回復感を得ておりません。私なりに原因を探ると業界独特の時間差に問題がありそうです。とは言え、仕事量には特に問題無く、今後もある程度は見込めそうです。が、まだまだ満腹感や達成感が得られていないのが現状です。そこには何らかの要因が潜んでいるのではないのでしょうか。その要因は

適正な工期工程の乱れと考えます。又、予定（工程等）通りに行かない仕事は絶対に儲からないからです。急な工程変更が発生する現場は失敗します。間違いありません。皆さんも経験あると思います。

例えば、手入れをした歯車を準備したとします。安定した回転数であれば、歯車は軋んだり破損しません。一方、急停止や高速回転を繰り返せば、徐々に磨耗し多くのロスを生み、やがて機能を失い壊れます。正に我々の現況と重なりませんか。仕事量は豊富にも拘らず、もう一つ機能しない原因は建築工事工程の遅延にあるからと判断します。しかも建築も作業員不足で予定通りに進まないのも理解しておりますが、その中でも我々に出る対策はある筈です。元方は遅延を理由にせず、「本気」の予定を確保すべきであり、それが無駄の排除に大きく繋がると考えます。「本気」の予定とは、危機感を持った狂いの無い工程そのものです。そこそが歯車を破損させないための潤滑油となり、安定した回転数を維持する為に必要不可欠なものです。言い訳は要りません！聞きたくもありません。誰もが多忙な時だからこそ多々流されず「本気」で必要工期を掴み取って頂きたいと願っています。そして、諸事情が有るにしても、もし妥協したらその時点で回らなくなる歯車がある事を忘れてはなりません。現況の軋みに潤滑油を！ご協力を

切にお願い申し上げます。この先、業界のピーク期を乗り越える為には、如何に限られた作業員を効率良く無駄無く配置し、安定感を持って工程通りに施工する事、それらを計画・準備し実行し、この危機を回避しなくてはならないと思ふのは私だけではありません。此のような目的を共有して、皆さん頑張りましょう。まだまだ暑い日が続きます。日々の体調管理を忘れず、ご安全に！

安全衛生協力会役員ご挨拶

情けない出来事

安全衛生協力会会長
(有)管設備 菅 良行



一昨年の8月中旬、都内某新築現場での貴重な体験からの一言。

その日は朝9時からレッカーを使用して地下階へのダクト搬入作業。トラック4台分の資材を建築者とトラック運転手と三人で荷卸し作業を行った後、自分が玉掛作業に、鳶はその後の開口部において合図、従業員全員は地下階にてダクト横引き作業にあたらせていた。

前日は新規現場での重点危険作業という事もあって疲労困憊する事であろうと、翌日の作業に備えて体調も万全に整え、作業の流れもシミュレーションしながら気合も入っていた。

当日、現地での玉掛作業場は屋根が無く青空が広がり、また、足元には分厚い鉄板が一面に敷かれていた。作業に対しての不安要因と言えば、唯一「朝から抜群の快

晴」だけであった。何時もの様に難なくこなせるだろうと経験値がそう思われたが、嫌な予感も持っていた。程なくして、同業他社の搬入車両が目の前に待機させられ限られた時間内で搬入作業を完了させる為、焦りながらふり構わず夢中になって作業にあたり2時間ほど過ぎた頃、ある予兆が：ふと気付けば目の前の視界が黄緑色になりだして吐き気もして来たが、どうしてもその場を離れられない状況ではなかった。「熱中症？」やばいかもと思った。無事に何とか作業を終え、現場前の冷房の効いたレストランに駆け込んだ頃には、足に違和感を感じて、暫く間、滝のような汗が止まらず、食事も喉を通らなくなりました。初期の熱中症になりかけた訳である。協力会役員という立場で自分の行動力と判断力の無さに猛省した出来事であった。そして「頑張る」と「無茶をする」とは全くの別物であると体験の中で再認識させられた出来事であった。

現場作業に携わる者達には時季として今が最も辛い時となるが、無茶することなく、経験値を活かして危険要因を徹底的に排除し安全な作業環境を自ら生み出して下さい。最後に、団結して前進していく為には、タムラカントウで働く協力会員同士の尊敬と共感が最も必要だということも再認識して、毎日の作業に従事して頂きたい。ご安全に。



「ダクト技能者特A ランク認定者」紹介



(株)タムラカントウ
工事2部長
木村 文則



(株)タムラカントウ
工事1課長
関本 和敏

「空調システム診断士・厨房排気システム診断士」誕生!!



工事2部
齊藤 昌男
みなさん、お疲れ様です。工事2

部の齊藤です。梅雨が明け、気温が一気に上がって来ましたが、熱中症対策はしっかりと行っていますか？

さて、私は「空調システム診断士」を4月に取得しました。空調システム診断士は何をするのかというと、建物の空調機の清浄度や汚染度の診断を行うことです。言わば空調の「健康管理」です。具体的にはエアコンから異臭がする、空調機を回すと体調が悪くなる等の問題が発生した時、その問題を特定する為に点検・調査して改善策を立案し、お客様に「この様な問題があるので、このことをお勧めします」という提案を行う資格です。続いて7月には「厨房排気システム診断士」の資格も取得しましたので、今後の仕事に活かして行くよう更に頑張っていきます。

平成27年度「安全衛生標語」入選作

- 最優秀賞**
慣れと過信は事故の基
初心にかえて安全作業
鶴田 明良 (工事一部)
- 優秀賞**
ルールなくして安全なし
ルール守って事故はなし
守る勇気と続ける努力
青山 義昭 (生産千葉)
- 佳作**
早くやるより確実に！
うまくやるより安全に！
ルールを守って無災害
小林 貴之 (工事二部)
- 佳作**
時代や価値観変わっても
仕事の基本は変わらない
気を付けよう！
おぼえた時より慣れた時
中村大輔 (生産千葉)
- 佳作**
昨日の危険と 今日危険
違う目線で危険予知
見直そう 今日の手順と明日の手順
沢田 清美 (生産銚子)
- 佳作**
忘れるな ルールがあること守ること
慣れた行動に落とし穴
しないさせない不安全行動
三上 和哉 (有平野ダクト)
- 佳作**
見る目気づく目注意の目
迷った時にはまず確認！
守ろう我が身と仲間の安全職場
室井 康孝 (積算課)
- 佳作**
作業手順 守る勇気と続ける努力
基本に忠実 安全作業
鶴田 明良 (工事一部)
- 佳作**
相互注意で仲間を守り
全てに勝る危機管理
みんな育てる安全意識
茅原 晶成 (生産千葉)
- 佳作**
まさかより
もしもで行なう危険予知
必ずつぶそう危険の芽
みんなで咲かそう「ゼロ災職場」
沢田 清美 (生産銚子)

「株」古市ダクト工業 会社紹介

この度は、(株)古市ダクト工業の古市社長をご紹介させて頂きます。古市社長は学校卒業後、本田技研の関連会社にてスポーツカー(NSSX)の部品製作やF3000のマフラー製作を担当、ここで板金の技術を習得した後、26歳でダクト業界に入りました。若い頃はバイクレースに夢中で筑波や鈴鹿サーキットでレースに参戦、全日本選手権(250ccクラス)では最高3位の成績も記録しました。独立したのは31歳。当初は一人親方としてのスタートでしたが、気の合う仲間生まれ、古市ダクト工業として社員を採用して平成26年には株式会社として法人登記今年3月に待望の建設業許可書の取得に至りました。また、5月には新事務所を開設し事務員さんの職場環境も整えました。作業現場では手戻りが発生しないよう一作業毎、確実に丁寧な取り付けとそのチェックを欠かさぬよう、社員指導にも常に注力しています。趣味は以前のバス釣りから今はゴルフ、息抜きとして最高のスポーツとのことです。当社の協力会の一員になって早2年。今後の益々のご発展をご期待申し上げます。



「登録ダクト基幹技能者」誕生!

(株)タムラカントウ
工事2部主任
浅野 康幸

(株)タムラカントウ
千葉営業所主任
中村 大輔

「管工事施工管理技士」合格者おめでとう!

2級
(株)タムラカントウ
千葉営業所
小笠原 龍治

2級
(有)森川空調設備
麻生 雄三

社員旅行

工事3部 森蔭 敏久
6月12日(14日・13日)15日と2班に分かれ、北海道は札幌と小樽を訪れました。
札幌ではサッポロビール北海道工場やご当地銘菓の白い恋人パークを見学、小樽では運河沿いの歴史ある建物群をのんびり散策し、またNHKの朝ドラ「マッサン」の舞台になったニッカウヰスキー余市工場を見学しました。何処も大勢の観光客で賑わっていました。私がおも一つ楽しみにしていたのは1班と2班が合流しての大宴会です。しかし、ビール工場見学が終わったのち、直営店の本場ジンギスカン料理店で昼食を取りまし

工事部の熱中症予防対策

工事3部 沢田 利雄



皆様、日々の作業お疲れ様です。今年も本格的な「夏」がやって参りました。近年、夏の暑さは厳しさを増し35度を超すことも多くなり、また、地域によっては40度を超す記録的な暑さの報道も珍しくなくなりました。それに比例して増加しているのが、ご承知の通り「熱中症」です。熱中症は、応急処置の迅速な対応も大切ですが、しっかりとした予防対策が先決だと思えます。一般的に、熱中症を予防するためには、熱中症にかからないようにする体を作ることが重要で、その基本となるのが食生活だと言われています。1日3食バランスのとれた食事と適度な水分補給によって、健康維持が保たれるそうです。既に各現場において予防対策がなされていると思えますが、その中で今回

は、私が担当している現場の予防対策を紹介いたします。現在、対策の一つとして扇風機の使用が主となっていますが、正直ガラスの入った広い室内では効果も薄いのが実状です。当社の「熱中症予防管理表」をフルに活用し、協力業者の方達全員で朝礼前・10時・お昼・15時・帰宅前に声掛けを行い、そして顔色確認を欠かさず実施しています。また、ネッククーラーや独自のペットボトルホルダーを使用し、飲料水もスポーツドリンク等、塩分摂取が十分にできる飲み物に切り替えています。更に重要なことは一人ひとりが絶対に熱中症にならないと強く自覚し、確実に実行してこそ防止できるものと考えています。「自分の身は自分で守る」と「周囲に目配り自分も仲間からも熱中症が出ないように予防活動に徹してまいります。ご安全に!



たが、ビールが飲み放題でしたので、少し飲みすぎて宴会では早々に酔い、あまり記憶が残っていません。3日間、関東の蒸暑い空気とは違い、体中に爽やかな風をいっぱい感じる事が出来ました。で、この度の社員旅行で十分にリフレッシュして帰って来ました。この秋からの繁忙期を社員一同頑張つて行きましょう。ご安全に!



新入社員紹介

中臺 誠
H8・10・29生
(工事二部)
千葉県立八街高等学校卒

藤田 翔馬
H8・11・24生
(工事三部)
千葉県立千葉大宮高等学校卒

大木 信人
H5・1・23生
(断熱部)
関東職業能力開発大学校
生産機械システム技術科卒
応用課程

木村 和稀
H8・12・11生
(生産本部千葉営業所)
千葉県立横橋高等学校卒

杉山 泰大
H4・7・3生
(生産本部千葉営業所)
東京情報大学 総合情報学部 情報システム学科卒

伊藤 大輝
H8・6・12生
(生産本部銚子営業所)
横芝敬愛高等学校卒

佐藤 麻由
H8・8・16生
(生産本部銚子営業所)
千葉県立旭農業高等学校卒

今年も猛暑だ!!
熱中症に気をつけよう

乾いた体に
たっぷり
水分を与えよう

平成27年8月1日

お知らせ

(株)タムラカントウ安全衛生協力会の近々の予定をお知らせします。

- ①「全国労働衛生週間」準備月間ミニ安全大会の開催
期間 平成27年9月1日～30日
- ②秋季安全衛生大会
日程 平成27年11月1日
- ③協力会研修旅行
日程 平成27年11月7・8日
福島母畑温泉

編集後記

皆様、暑い中お疲れ様です。そしてお忙しいところご寄稿ありがとうございました。本年度は7人もの新入社員が仲間になりました。私事ですが、早いもので入社三年目を迎えました。いつまでも初心を忘れず、緊張感を持って励んで参りたいと思います。まだまだ暑い日が続くかと思われませんが、熱中症予防対策を御参考に事故のないよう仕事に取り組んでまいります。ご安全に!

管理本部 鈴木 絵美